

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (213), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	214	課コード	0404	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	農業振興地域整備計画の管理		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・農政課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.19人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	663千円		当該(開始)年度	(当初)	1,870千円 (うち人件費 1,672千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	22101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 農業振興地域整備計画	
(2) 目的	施策目的・展開方向	農業の生産性の維持・向上を図るため、農地中間管理機構等と連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、近代化的農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤と農業経営基盤の維持強化に向けた取り組みを進めます。			事業目的	農業の振興を図り、優良農地を確保するとともに、農地を良好な状態で維持・保全する計画を策定する。					
(3) 事業内容	内容	農業の振興を図り、優良農地を確保するため、農業振興地域整備計画の随時見直しを行う。(整備計画案の作成、関係機関との協議、県知事との協議、計画公告)			当該年度執行計画	変更相談・協議案件の処理 4月～3月業振協会の運営					
		当該年度活動結果指標	変更相談・協議案件の処理率		単位	%	想定値	100			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	変更相談・協議案件の円滑な処理				直接	変更相談・協議案件の処理率		%	100	100	
令和2年度	変更相談・協議案件の円滑な処理が行われている				-	変更相談・協議案件の処理率		%		100	
令和3年度	変更相談・協議案件の円滑な処理が行われている				-	変更相談・協議案件の処理率		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	変更相談・協議案件の庁内連携による審査と関係機関の調整				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		農業振興協議会委員報酬	147	農業振興協議会委員報酬	98	農業振興協議会委員報酬	98	農業振興協議会委員報酬	98		
		農用地区域図印刷費	90	農用地区域図印刷費	100	農用地区域図印刷費	100	農用地区域図印刷費	100		
		予算(決算)額	合計	237	合計	198	合計	198	合計	198	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源	237	198	84	198	0	0				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.19	0.19	0.19	0.21	0.21					
	正職員人件費	1,672	1,672	1,672	1,848	1,848					
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0					
	臨時職員賃金額	0	0	0	0	0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,909	1,870	1,756	2,046	2,046						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	19.09千円/%	18.7千円/%	17.56								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	本市農業振興地域整備計画で設定された農用地区域の除外・用途区分の変更等の相談・協議案件について、庁内調整及び関係機関との調整を図り、適切に処理することが求められる。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 関係機関と調整を図り適切に処理した。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 関係機関との調整を図り処理する。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		計画案について、市民が参画する農業振興協議会への諮問を行う。		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因> 該当なし		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 関係機関と調整を図り処理できた。		
	100	100			100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	1,870	39	<削減の内容>		1,756	93.9			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0	0	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 関係機関と調整を図り処理できた。		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	農業振興地域整備計画で設定されている農用地からの除外及び用途区分変更は、農業振興上重要な判断を求められる。									

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (215), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for budget, personnel, and performance metrics.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for current status and improvement directions.

Comments and improvement directions section with text input fields for evaluation comments and future plans.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	216	課コード	0404	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	水田農業構造改革対策事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・農政課		
	③事業主体	○市 ●その他（我孫子市農業再生協議会）			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成18年度～			⑥担当職員数	5人（換算人数）		0.42人			
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	6,467千円（うち人件費 3,696千円）				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	22101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）	
(2) 目的	施策目的・展開方向	農業の生産性の維持・向上を図るため、農地中間管理機構等と連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、近代化的農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤と農業経営基盤の維持強化に向けた取り組みを進めます。			事業目的	安定的供給が行われる消費者重視・市場重視の米づくり					
(3) 事業内容	内容	JA、土地改良区、農業委員会、我孫子市等で組織する「我孫子市農業再生協議会」により、以下事業を推進する。また、市はこの協議会の事務局を担う。 ・国の基本方針に基づき、米づくりの本来あるべき姿の実現 ・我孫子市人・農地プランの支援及び地域水田農業ビジョンの策定とその実現に向けた取組の推進 ・米穀の需給及び価格の安定のため、需要に応じた生産を基本に米の生産目標量の配分 ・農家へ経営所得安定対策の周知・推進 ・台風19号の影響により田中調節地内に堆積した稲わら等の撤去 ・その他			当該年度執行計画	・我孫子市人・農地プランの支援及び地域水田農業ビジョンの策定とその実現に向けた取組については、年間を通じて啓発活動を推進する。 ・需給調整については、重点期間として4月～9月の田植えから稲刈り時期に推進する。 ・経営所得安定対策については、制度の普及PRに努め、交付申請書及び営農計画書を生産年の6月30日までに受け付け、交付事務を実施する。 ・田中調節地内の稲わら等撤去については、利根土地改良と協定を締結し、今年度中に事業を完結させる。					
		当該年度活動結果指標	生産数量目標達成率	単位	%	想定値	60	実績値	93		
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	米穀の需給及び価格の安定				直接	生産数量目標達成率		%	93	60	
令和2年度	目標達成される事で米穀需給及び価格が安定している				直接	生産数量目標達成率		%		65	
令和3年度	目標達成される事で米穀需給及び価格が安定している				直接	生産数量目標達成率		%		70	
(7) 事業実施上の課題と対応	需要に応じた米の計画的生産を円滑かつ確に推進することが実施上の課題となっている。対応としては、国による米の経営所得安定対策の周知と制度活用支援を行うものとし、農家組合長・農業委員・協議会構成員・市農政課が連携し対策を推進する。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		経営所得安定対策等推進事業費交付金	1,470	経営所得安定対策等推進事業費交付金	1,607	米政策に係る負担金、報償費	966	米政策に係る負担金、報償費	966		
		飼料用米等拡大支援事業補助金	1,208	飼料用米等拡大支援事業補助金	1,470	経営所得安定対策等推進事業費交付金	1,607	経営所得安定対策等推進事業費交付金	1,607		
					18,025	飼料用米等拡大支援事業補助金	1,470	飼料用米等拡大支援事業補助金	1,470		
予算(決算)額	合計		2,678	合計	21,102	合計	4,043	合計	4,043		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	100%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	100%	補助率	100%	補助率	100%	補助率	100%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源		1		4,366		966		966		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.42		0.42		0.46		0.46			
	正職員人件費	3,696		3,696		4,048		4,048			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	6,374		24,798		20,944		8,091				
(11) 単位費用（事業費/活動結果指標）	106.23千円/％		413.3千円/％		225.2						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	米消費の構造的変化に伴う米需要の大幅な減少等、現下の米の需給状況を踏まえ、需要に見合った米の生産を推進し、需給改善を図ることで、収益性の高い安定した水田農業経営を確立することができる。経営所得安定対策は、地域ごとに関係団体等で組織する農業再生協議会が軸となって進める必要があるため、市はこの事業の推進を図るものである。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				●要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 生産数量目標に向け、各農家組合を通じて各農家に事業内容の周知を実施。各農家への個別対応も含め、新規需要米への取り組みを推進し、需要に見合った米の生産を推進し需給の改善を図ることが求められる。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 該当無し		該当無し		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当無し		該当無し		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成			
	93	60	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 関係団体と共に経営所得安定対策を推進した結果、取組面積が増加した。		○要 ●不要
					93	155			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について	
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった		○要 ●不要
	24,798	△18,424	<削減の内容>		20,944	84.46	<想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
事業費削減率(%)		△289.05		<超過理由等> 災害ゴミの撤去量が当初見込みより少なかったため。					
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 飼料用米に取り組む農業者が当初見込みを上回ったこと及び災害復旧費を当初見込んでいなかったため。
	0.24	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	0.44		183.33

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	主食用米の販売価格が安定していることから、新規需要米に取り組む人数・面積の進捗状況が一時期に比べ伸びていないため、今後も引き続き新規需要米への推進活動を行い、収益性の高い安定した水田農業経営の確立に向けて活動を行う。									

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (217), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (218), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Table for post-evaluation including current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (222), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	223	課コード	0404	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 土地改良事業の推進 個別事業 農道整備	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	環境経済部・農政課				
	③事業主体	〇市 ●その他（手賀沼土地改良区・利根土地改良区）		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	3人（換算人数） 0.07人						
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	6,929千円（うち人件費 616千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	22101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2) 目的	施策目的・展開方向	農業の生産性の維持・向上を図るため、農地中間管理機構等と連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、近代的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤と農業経営基盤の維持強化に向けた取り組みを進めます。			事業目的	農道の整備により、農作業の安全・効率化を図るとともに農業施設が持つ多面的機能の維持保全を図る。					
(3) 事業内容	内容	農道は、農業者以外の市民も利用する施設となっている。この農道を管理する土地改良区が実施する敷砂利、不陸整正等の整備工事に係る経費を負担する。（利根土地改良区区域、手賀沼土地改良区区域）			当該年度執行計画	3月まで 農道整備工事負担金の支払い					
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）	農道を適正に維持管理する			指標種類	指標	単位	%	想定値	100	
当該年度	農道が適正に維持管理されている	直接	負担金支出率	%	100	実績値	100				
令和2年度	農道が適正に維持管理されている	直接	負担金支出率	%	100						
令和3年度	農道が適正に維持管理されている	直接	負担金支出率	%	100						
(7) 事業実施上の課題と対応	農道については、一般車両も通行しているため損壊等が多く、その損壊等に対応して継続的に整備する必要がある。	代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価	事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	土地改良事業により整備された農業用の道路は、関係土地改良区により維持管理されているが、農業用道路であっても一般車両が多く乗り入れ利用されているのが実情である。このため、道路は破損し、収穫した野菜などの荷痛みの原因にもなっている。また、農作業効率も悪くなっている。よって、農道の敷砂利、不陸整正など簡易な整備にかかる経費の一部を負担し、関係土地改良区と連携しその維持保全を図っていく必要がある。	●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 農道の適切な整備により、効率的な農作物の維持が図られた。	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである（理由） □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容） 参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
環境への配慮	配慮の視点 ■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>	実施した具体的な内容 農道の草刈り、砂利引き補修等の整備を実施。 環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%) 100 目標値(b) (%) 100 目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である	達成状況 実績値(f) (%) 100 達成率(%) (f/b) × 100 100 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 関係土地改良区との連携により、破損した箇所の整備が速やかに行われた。	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c) (千円) 6,929 事業費削減額(d) (千円) 0 事業費削減率(%) 0 実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実施状況 実績値(g) (千円) 6,916 対事業費(%) (g/c) × 100 99.81 <超過理由等>	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e) 1.44 単位 % 費用単位 10万円 計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	達成状況 実績値(h) 1.45 対目標値(%) (h/e) × 100 100.69	○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	<input type="radio"/> 要 <input checked="" type="radio"/> 不要

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価コメント	土地改良事業により整備された農業用の道路は、関係土地改良区により維持管理されているが、農業用道路であっても一般車両が多く乗り入れられているため、道路は破損し、収穫した野菜等の荷痛みの原因になっているため、引き続き維持管理者と連携して維持保全を行う必要がある。	改善策及び展開方向
--------	---	-----------

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (225), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (229), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a comment about citizen health and future improvement strategies.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	231	課コード	0404	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 農業者と消費者の交流促進	個別事業 農家開設型ふれあい農園事業	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	環境経済部・農政課			
	③事業主体	<input type="radio"/> 市 <input checked="" type="radio"/> その他（農園開設運営者）		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成13年度～		⑥担当職員数	4人（換算人数）		0.16人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	2,458千円（うち人件費 1,408千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	22202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ	（計画名）
(2) 目的	施策目的・展開方向	多くの人が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園や農家開設型ふれあい体験農園などの農業体験の場の提供を進めます。また、農業拠点施設を活用し、農業まつりなどの生産者との交流の機会や農業に関するさまざまな情報を積極的に提供します。農家自身が開設する市民農園事業に対し、補助金を交付することにより、我孫子市市民農園整備計画に基づく農業体験型市民農園の整備を推進する。			事業目的	市民にとって身近な農業体験の場を市内各所に確保することを可能にするともに、多面的機能を持つ良好な農地の遊休化、荒廃化の防止を図る。また、農地の有効利用による農家経営の新たな展開を支援する。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	当該年度執行計画 4月～12月：開設農家及び開設場所の選定、補助金手続き等協議 1月：開設指導、利用者の募集広報支援 3月：利用者説明会、契約事務支援など 3月：補助金交付					
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標	単位	人	想定値	560	
当該年度	550人が農園利用している				間接	農園利用者数	人	実績値	504	560	
令和2年度	600人が農園利用している				間接	農園利用者数	人			600	
令和3年度	630人が農園利用している				間接	農園利用者数	人			630	
(7) 事業実施上の課題と対応	住宅地に近接する農園に利用者が集中するため、湖北以東など他地域の農園利用のPRが必要である。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)		
		施設整備補助金	500	施設整備補助金	500	施設整備補助金	500	施設整備補助金	500		
		維持管理助成金	550	維持管理助成金	550	維持管理助成金	550	維持管理助成金	550		
		合計	1,050	合計	1,050	合計	1,050	合計	1,050		
(9) 財源内訳	予算(決算)額	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
起債	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般財源	1,050	0	0	482	1,050	0	0	1,050	0		
その他の財源	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
換算人数(人)	0.16			0.16				0.17			
正職員人件費	1,408			1,408				1,496			
嘱託職員報酬額	0			0				0			
臨時職員賃金額	0			0				0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	2,458			2,458				2,546			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	4.39千円/人		4.39千円/人		3.75						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	農家開設型の市民農園は、身近な農業体験の場を市内各所に確保することを可能にするだけでなく、農家が「事業主体」となり、従前耕作に供していた農地をそのまま利用できるため、市直営で整備する市民農園に比べ費用効果の面でもメリットがあり、市民・農家・行政それぞれにとって有効な施策である。今後の市民農園整備事業の中心に据えるものである。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 農業従事者の高齢化・後継者不足等により遊休農地が増える中で、解決策の一つとして農家開設型ふれあい農園を支援している。市は開設整備費の助成・管理費の支援等を行っている。これにより、農業体験の場を市内各所に確保でき、農地の遊休化防止等にも寄与している。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		農園の開設、維持管理、運営については、市民（農家）自らが行ない、市民同士の交流も促進されている。		開設希望者と農園整備計画についての相談受付を行った。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		農地を活用しながら、市民が自然環境にふれあえる農園になるように開設案内を行っている。		有機肥料・減農薬野菜の作り方等について資料を整理し、希望者に配布できる準備を行った。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		●①目標値達成 ○②目標値未達成	
	550	560	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が低い値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (人)	90		<目標を達成した理由/未達成となった原因> 前年に引き続き、大幅な利用者の増減がなく、同程度で推移しているため。	
					実績値(g) (千円)	76.89		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について	
	2,458	0	0	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 <削減の内容>		1,890		●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	22.78	人	費用単位	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	117.08	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新規開設に係る施設整備の助成について支出が無かったことで、事業費が少なくなったが、利用者数は目標値をほぼ達成したため。	

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	市民が身近で農業を体験できる場を多く確保するために、今後も引き続き農家開設型ふれあい農園の新規開設・維持管理に関する支援を行っていく必要がある。									

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (232), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 (費用) with detailed budget breakdown for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Contains sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性, and (6) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a checkbox for '現状どおり推進' and a text box for '評価コメント'.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (233), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (234), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 効率性, (7) 目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	235	課コード	0404	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 環境と調和した農業の展開	実施計画への位置づけ		○有 ●無		②部課名	環境経済部・農政課			
	③事業主体	個別事業 有機栽培等農業者支援事業	④対象地区		○我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	平成25年度 ~		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.41人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	19,343千円 (うち人件費 3,608千円)		(変更後)	19,028千円 (うち人件費 3,608千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	22103	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	農業が持つ水源のかん養や洪水の防止、自然環境の保全、良好な景観の形成といった多面的機能を維持するため、こうした機能について市民の理解を深めるとともに、生産者と連携しながら環境保全型農業の普及・促進を図り、環境にやさしい農業に取り組めます。また、エコ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に市内農業者でエコ農業（有機や特別栽培）を行っている農業者（経営体）及び今後志向する農業者（経営体）に対し、補助を行う。 ・エコ農産物の認証手続きや、農業・肥料の適正使用を支援するため生産履歴管理を支援する。				事業目的	エコ農産物の生産活動を支援し、環境保全型農業を拡大する				
(3) 事業内容	内容					当該年度執行計画	4~3月 有機栽培等農業者支援事業補助金交付事務 4~3月 専門知識を有する嘱託職員によるエコ技術の指導、生産履歴の記入と管理の指導 4~3月 ちばエコ農産物、及びエコ農産物認証手続き支援事務 4~3月 我孫子市産農産物の残留農薬検査 4~3月 生産履歴システムの運用				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	有機栽培等農業者に取り組む経営体の育成				直接	有機栽培等農業者に取り組む経営体数		経営体	47	51	
令和2年度	環境保全型農業の定着している				直接	有機栽培等農業者に取り組む経営体数		経営体		55	
令和3年度	環境保全型農業の定着している				直接	有機栽培等農業者に取り組む経営体数		経営体		60	
(7) 事業実施上の課題と対応	あびエコ農業推進基本計画に基づき、農業所得向上に結びつけるための付加価値PR及び販路確保支援及び、ポジティブリスト対策を徹底させるための農業者に対する研修または戸別指導の実施が必要である。また、生産履歴管理の支援システムを導入しあびエコ農産物認証制度を構築し環境にやさしい農業の推進を広く行うことが求められる。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		有機栽培等農業者への補助	6,262	有機栽培等農業者への補助	6,543	5,664	有機栽培等農業者への補助	6,600	有機栽培等農業者への補助	6,600	
		嘱託職員報酬(2人)	5,657	嘱託職員報酬(2人)	5,657	5,500	嘱託職員報酬(2人)	5,657	嘱託職員報酬(2人)	5,657	
		嘱託職員費用弁償	484	嘱託職員費用弁償	484	456	嘱託職員費用弁償	484	嘱託職員費用弁償	484	
封筒印刷費	164	封筒印刷費	112	112	封筒印刷費	111	封筒印刷費	111			
普通旅費(1512円×1回×2人)	3	普通旅費(1512円×3回×2人)	10	7	普通旅費(1512円×3回×2人)	10	普通旅費(1512円×3回×2人)	10			
研修旅費(1512円×1回×2人)	3	研修旅費(1512円×3回×2人)	10	10	研修旅費(1512円×3回×2人)	10	研修旅費(1512円×3回×2人)	10			
残留農薬検査検体野菜購入費	14	残留農薬検査検体野菜購入費	13	8	残留農薬検査検体野菜購入費	13	残留農薬検査検体野菜購入費	13			
残留農薬検査費用	830	残留農薬検査費用	529	501	残留農薬検査費用	845	残留農薬検査費用	845			
残留農薬検査検体送料	8	残留農薬検査検体送料	7	6	残留農薬検査検体送料	7	残留農薬検査検体送料	7			
生産履歴システム年間利用料	422	生産履歴システム年間利用料	528	396	生産履歴システム年間利用料	528	生産履歴システム年間利用料	528			
生産履歴システム保守点検委託料	67	生産履歴システム保守点検委託料	138	132	生産履歴システム保守点検委託料	138	生産履歴システム保守点検委託料	138			
環境保全型農業直接支払交付金	432	生産履歴システム農業データベース更新料	528	648	生産履歴システム農業データベース更新料	528	生産履歴システム農業データベース更新料	528			
生産履歴システム導入委託料	2,353	環境保全型農業直接支払交付金【あびエコ農産物認証制度関連】	432	420	環境保全型農業直接支払交付金【あびエコ農産物認証制度関連】	432	環境保全型農業直接支払交付金【あびエコ農産物認証制度関連】	432			
		認証シール印刷費	429	398	認証シール印刷費	429	認証シール印刷費	429			
予算(決算)額	合計	16,699	合計	15,420	合計	15,792	合計	15,792			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	588	補助率	0%	0	補助率	0%	
	県支出金	補助率	75%	324	315	補助率	75%	324	補助率	75%	
	起債	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
	一般財源			16,375	14,499			15,468		15,468	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.31	0.41	0.41		0.31		0.31		
	正職員人件費		2,728	3,608	3,608		2,728		2,728		
	嘱託職員報酬額		5,657	5,657	5,657		5,657		5,657		
	臨時職員賃金額		0	0	0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		19,427	19,028	17,866		18,520		18,520			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		380.92千円/経営体	373.1千円/経営体	388.39							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	無農業、減農業等の環境保全型農業への市民の関心は高まっているが、実際に有機栽培等を行っていかないと、労力、経費の割には経営が安定していないのが現状である。 市民の、環境や景観、食に対する安全・安心に対する関心が高まる中、有機栽培等に取り組む農業者を支援するために経費負担の助成や栽培技術支援等を行うことが必要である。 あびエコ農業推進基本計画に基づき、あびエコ農産物認証制度を構築し環境保全型農業の推進を広く図る。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 環境保全型農業(ちばエコ農業)の推進を栽培履歴の記録・管理の支援を行うことで安全・安心な農産物の生産を促した。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		あびこ型「地産地消」推進協議会による環境保全型農業支援事業との連携		あびこ型「地産地消」推進協議会と連携し、ちばエコ農産物の市民への周知やちばエコ農産物に取り組む農業者への支援を行った。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他		環境保全型に取り組む農業者への経済的・技術的支援と消費者へのエコ農産物のPR		環境保全型農業へ取り組む農業者への経費助成と農業改良普及員による技術支援を行った。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(経営体)	目標値(b)(経営体)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	47	51	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(経営体)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 天候不順等の影響により、申請の取り下げ等が発生したため。		○要 ●不要
	46	90.2			46	90.2			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	19,028	399	<削減の内容>		17,866	93.89	<想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
2.05					<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.27	単位 費用単位 経営体	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ●不要
		10万円			0.26	96.3			

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	本事業は、環境にやさしい農業の推進に向けた環境保全型農業の普及・推進に必要な事業となっており、令和2年度から市独自のエコ農産物の認証制度であるあびエコ認証制度の運用を開始するため、今後も現状どおり推進していく。				改善策及び展開方向					
--------	---	--	--	--	-----------	--	--	--	--	--

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (236), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (237), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and implementation status.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1571), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section including '●現状どおり推進' options and a '評価コメント' field for the project.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1572), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and comments.

Summary table for post-evaluation with columns for status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1574), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向, 事業目的
(3) 事業内容: 内容, 当該年度執行計画
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5)現況値, (6)目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
参加・協働の工夫
環境への配慮
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

Summary table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (1884), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1917), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status table.

Comments and improvement directions section.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1920), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with status indicators and improvement directions.

Final evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2007), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed table for (1) target setting, (2) cost reduction, and (3) target achievement.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including a table for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2108), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and a text box for comments.